

普及活動情勢報告（令和3年7月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

考えよう！自分たちの集落の未来 ～梶原町・集落営農塾の実施～



個々の協定集落で意見交換

6月14～25日にかけて、梶原町の中山間地域等直接支払交付金に取り組む協定集落を対象に、集落営農塾（組織化編）を開催し、6協定集落51人の参加がありました。

当課から、地域課題の解決策の1つに集落営農があることを説明し、各地域の担い手や農地の状況などについて意見交換を実施しました。

参加者からは、「機械の共同利用を実践している組がある」「地主が高齢で利用権設定して耕作する事例は多い」「自分が持つ機械があるうちはできるが…」という声がありました。

当課は、組織化に関心のある集落を対象に今後も関係機関と協力して、集落営農を推進していきます。

薬剤のみに頼らない防除を目指して ～促成ニラの天敵利用によるネギアザミウマ対策の実証～



天敵放飼の様子

管内のニラは、ネギアザミウマによる食害及びえそ条斑病による収量や品質の低下が問題となっていますが、薬剤に対する感受性が低下しており、対策に苦慮しています。

そこで、IPM技術現地実証試験として中土佐町の促成農家1戸で天敵を活用したネギアザミウマ対策に取り組むこととなり、6月22日に1回目の天敵の放飼及び調査を行いました。

実証農家からは「薬剤のみによる防除では限界がきている。天敵や防虫ネットを組み合わせる総合的に防除する必要がある」との意見があり、当試験への期待がうかがえました。

今後は2週間に1回の頻度で天敵とネギアザミウマの発生状況を調査するとともに、費用対効果についても検証を行います。

分析ツール「タブロー (Tableau)」で環境測定データを簡単分析 ～勉強会の開催～



「タブロー」の活用事例を熱心に検討する指導員たち

6月23日、JA土佐くろしおに導入された環境データ分析ツール「タブロー」の活用について検討するため、営農指導員、普及指導員20人が勉強会を開催しました。

当課からミョウガ調査ほ場3カ所の生育調査データ結果を報告するとともに、環境測定データの「タブロー」を使った分析、診断を営農指導員と共に行いました。

分析ツールの活用により、環境データを視覚化して、複数の生産者の積算気温や温湿度管理の違いを比較するなど、指導員と具体的な意見交換を行うことができました。

当課は新たに導入された分析ツールを農家指導に生かせるよう、関係機関と共に、さらに多くのデータ集積と分析をすすめ、データ駆動型農業の実践支援に取り組んでいきます。

花蕾の腐敗に細心の注意を!! ～JA 土佐くろしおミョウガ部会目慣らし会～



花蕾腐敗対策を説明する普及指導員

6月21日～28日、JA土佐くろしおの3集出荷場でミョウガ目慣らし会が開催され、生産者計201人が参加しました。

当課からは、夏場に問題となる花蕾腐敗や水やけ症の原因と対策について説明しました。特に花蕾腐敗対策として、栽培や洗浄に用いる水質検査と改善策の実践を指導しました。

生産者からは、花蕾腐敗対策等に関する質問があり、花蕾腐敗対策や水の衛生に対する意識が高まりました。なお、ミョウガ部会では水質検査をGAPの取組のひとつとして実施していきます。

当課は今後もJAと連携して花蕾腐敗低減に向けた指導により品質向上を目指します。

本格的な出荷に向けて ～津野山ミョウガ部会目慣らし会～



出荷規格を確認する生産者

6月23日、JA高知県津野山営農経済センターでミョウガ目慣らし会が開催され、生産者16戸が参加しました。

当課からは、農薬一覧に新たに記載したRACコードの説明、かん水開始時間と葉のたたみ度合いの差など、梅雨明け後の栽培管理のポイント等について情報提供を行いました。

生産者からは、梅雨明け後のかん水の開始時間について質問があり、関心の高さがうかがえました。

当課は、今後も生育調査や現地検討会など部会活動への支援を行い、生産力向上に向けて取り組んでいきます。

充実した株の養成を目指そう! ～ニラ個別巡回～



資料を説明する指導員

JA土佐くろしおニラ部会が6月に予定していた現地検討会が中止になり、代わりに7月2日に営農指導員と個別巡回(4戸)し、株養成期の適正管理について情報提供しました。

当課からは、昨年の調査結果をもとに、夏場に外張り天張を剥ぐ(フルオープン)場合は剥がさない場合と比較して、日中の温度が低く初期生育が良かったことを説明し、フルオープンの推奨を呼びかけました。JAからは、農薬のローテーション散布例を挙げ、防除効果を維持するよう指導しました。

生産者からは、「今年もフルオープンにする」「遮光を活用してみる」との声があり、株養成期の高温対策に対する意識を高めることができました。

当課は今後もJAと連携し、ニラの品質向上に向けた支援をしていきます。